

蝉の声大繁盛となりにつけり

蝉を食ふ鴉も蝉も喧しき

早起きの寝不足の蝉木に当る

蝉鳴くや空つぼの腹ひびかせて

油蟬に油臭さはなかりけり

公園の白ハイヒール夜の蟬

絶命は絶対の蟬時雨なり

魁の虫を圧して夜の蟬

遠くまで逃げゆく蝉や蟬時雨

切れかけし螢光灯のごとく蟬

蝉鳴いて愉悦の末を仰向けに

蟬時雨迫り来る死を忘れよと

蟬時雨産卵終へし歓喜とも

水田に落ちて溺るる蟬もあらむ

ぶつかつて潰れし蟬は見かけねど

蟬時雨ほかの流派もうち混じり

油蟬に油の艶はなかりけり

木に当る愚かな蟬と思へども

懐しき地中の暗さ夜の蟬

夏や蟬老いてますます盛んなり

鬱蒼と神社匂へり蟬時雨

お互ひを励ます如く蟬の声

一族の鳴き尽さんと蟬時雨

鳴き尽すまではひたすら蟬時雨

指先に抓んで蟬に共鳴す

あふ向けの蟬のお腹を押してみる

われ先に死ぬ恍惚や蟬時雨

生きるべく死ぬべくひたに蟬時雨

蟬のこゑ届かぬところまで泳ぐ

科学者は白衣をまとふ夜の蟬

鳴きながら体当りして蟬果つる

この蟬は雨に寿命を縮めしや

落蟬の鳴かず飛ばずを投げ上げて

蟬の腹八分目ほど蝕まれ

朝顔もはかなかりしが蟬の声

2024・7・15【全然堂歳時記夏】【蟬】 選25句

12行3段組14ポ 2024年7月15日 08:04 ^1 <桐10

絶命は絶対の蟬時雨なり

鬱蒼と神社ありけり蟬時雨

朝顔もはかなかりしが蟬の声

魁の虫を圧して夜の蟬

お互ひを励ます如く蟬の声

切れかけし螢光灯のごとく蟬

一族は茶の装束に蟬時雨

水田に落ちて溺るる蟬もあらむ

指先に抓んで蟬に共鳴す

蟬時雨迫り来る死を忘れよと

あふ向けの蟬のお腹を押してみる

油蟬に油の艶はなかりけり

われ先に死ぬ恍惚や蟬時雨

木に当る愚かな蟬と思へども

生きるべく死ぬべくひたに蟬時雨

懐しき地中の暗さ夜の蟬

蟬のこゑ届かぬところまで泳ぐ

蟬時雨ちがふ流派もうち混じり

科学者の長き白衣や夜の蟬

ぶつかつて割れたる蟬は見かけねど

この蟬は雨に寿命を縮めしや

蟬時雨から遁走の蟬ひとつ

落蟬の鳴かず飛ばずを投げ上げて

夏や蟬老いてますます盛んなり

蟬の腹八分目ほど蝕まれ